## かみのせき 10/25 No.164



負けられない応援合戦 (小中合同運動会)

#### 令和5年9月定例会

臨時会	· 2~4ページ
	5~6ページ
	7ページ
7. 4	・応答 8ページ
	・応答 9ページ
/WYZX1: Y	·10~14ページ
	15 ページ
町民の声・議員提出議案	·····-16 ~ 17 ページ
議員研修・編集後記	18ページ

#### 臨時会(8月 18日)

西

哲 夫 町

受け入れる考えですが、

議員

のご意見を伺い

間貯蔵施設の調査を私としては

げることが私の使命。

よって中

可能な故郷上関町を次世代に繋

て判断するものではない。

### 議員

#### 中間貯蔵施設 検討 受け入れを問う

持続可能なふるさと上関町を

次世代に繋げることが 私の使命!

しっかりと条件をつけ 全議員の意見を尊重し、 速やかに回答を行う。

> 行 政 報 告

> > 山

谷

良

数

議

員

を進め きない。 状況について協議された。 議員の皆様も昨年より全員協議 組みとして、 会におい るための調査・検討であり、 としては、 は出なかったと聞いている。 しながら、 会において、 蔵施設の検討にあたって、 策など選択肢の一つになる取り 回答があった。 な計画が示されなければ判断で したことへの回答で、 8 月 **2**日 たいとのことであった。 域 振興策 ても施設の是非につい 具体的な計画を策定す 施設の概要や具体的 全員協議会では結論 町の振興策、 使用済燃料中間貯 今年2月に要請 の要請につい 地域振 しか 調査 財政 町 F

中 围 電 力から、

#### まず は 調 査

を

建設・ 域振興・ まずは調査を行っていただき、 設が延期されている中での、 重要なことであり、 様 容を十二分に説明をし住民の皆 域振興や住民サービス・住民福 求め後の企業からの回答であり、 福祉などの財源確保策を企業に 調 祉などについて財源の使途 本大震災による原子力発電 分な努力をお願いしたい 方の御理解をいただくことが 査 今 0) 口 立地 申入 0) 住民サービス・住民 中 の段階となれば、 n 間 一貯蔵施設に対 12年前 町にはそ の東 する の内 所 地 地 建 Ħ



秋 Ш 鈴 明 議 員

決賛 め否 方以 が 前 おに か

W

か、 取りをしたと堂どうと言えるの この間、 親切なまちをつくる」とある。 町民憲章には 0 で町から 的な上関町であることを望む。 るじゃないか」と町政を諦 のある親切な説明や意見の聞き を判断すること自体に反対する。 いる人が多く い人や「いつも勝手に上で決め わ 小さな声も丁寧に聞く民主 ずかか 意見を言いたくても言えな そんな状況で調査の受入れ 町民に対して思いやり 0) 一週間ば 説明は行われ いる。 「思いやりのある かりの短期 憲章に基 てい 8 間 な

## 柏田真一議員



# 町の経済効果に期待

る。 点を移す会社も出てきている。 まで中間貯蔵施設の安全性につ 貯蔵施設の調査受入れを賛成す 商店の閉店が相次ぎ、 承すべきだと考える。町内では 財政の現状を考えれば早急に了 いて問題が出たことはなく、 計画を見て再度議論し、 のであり、 施設の設置に係る立地可能性 ばよいと考える。議会でも今 査 経済効果も期待できる中間 玉 検討を行いたいというも 電力の提案は、 適地となり具体的な 町外へ拠 中 判断す 間 貯 0 蔵

## 山戸 孝議員



# 町民に向きあうべき上関で永久貯蔵の危惧

べき。 できない。 しまってからでは冷静な議論は についても反対する。 設には反対であり、 上のことから中間貯蔵施設の建 策は町づくりに寄与しない。以 また住民の分断を生む財源確保 関町での貯蔵が続く危惧がある。 的拘束力はなく、 使用済み核燃料の保管期間も法 疑問 イクルの稼働の見込みは厳しく、 そもそも国 がある。 まず町民に向きあう 町長は判断をいった 六ケ所村核燃料サ の原発政策全般に いつまでも上 調査の 判断して 可否

# 魅力あるものと関町にとって、大変

ものと考える。 ば今回の提案は、大変魅力ある 0) 安という声は出ていない。 第二発電所内の同施設に視察に 議論すればよい。議員は、 討なので結果が提出された後に 策を議論してきたが良案は出て 成する。 行き安全性について認識できて ている。 目的とした地域振興策と認識 13 ない。 る。 理由により、 中 間貯蔵施設は、 全員協議会においても不 今後の上関町を考えれ 全員協議会で地域振興 今は、 調査受入れに賛 財源確保 調査・検 以上 東海

# 古泉直紀議員



## 町を分断しかねな

Va

②中間貯蔵施設を誘致すること け入れることにリスクを感じる。 今現在核燃料サイクルが確立さ 経験したつらい思いをさせたく 断された。 ③原発問題により町の住民は分 れをしようとしている。 に説明されないまま調査の受入 リットなどが住民に対して十分 による上関町のメリット・デメ れておらず、 原子力施設が本当の地域 調査受入れに反対の 「中間貯蔵」という名だが、 町をまた分断しかねない 子供たちに我われが 使用済核燃料を受 理由 振

## 清水康博議員

なり得るとは思えない。

# 右田千賀子議員



## 町民の生活が心配

中間貯蔵施設の調査・検討に 中間貯蔵施設の調査・検討に を言い争っていても、調査して、 と言い争っていても、調査して、 と言い争っていても、調査して、 と言い争ったのか分らない。貯 ために争ったのか分らない。貯 建設出来ないとなった時、何の と言い争ったのか分らない。貯 と言い争ったのか分らない。貯 と言い争ったのか分らない。貯 と言いの位になっているのか。町 はどの位になっているのか。町 にが安心して生活ができるのか と記。

# 海下竜一郎議員



## **肯ったなし**

り、 らか。 状態、 税収が約1億8000万円で全 確保を訴えていた。令和5年度 況の中で町の存続を考え、 口減少が進み交付税も少なくな める地方交付税のおかげだ。人 支えているのは、 体の5.%しかない。 4400万円で、その中で町の の当初予算は一般会計が、32億 町 ・検討の開始を強く要望する。 長は、 町の財政を圧迫するのは明 財政状況は待ったなしの 早急に中間貯蔵施設の調 非常に厳しい財政状 54・9%を占 町の財政を 財源

## 山村泰志議員



# 問わず交付金の活用を町の財政は厳しい。推反

この案件は採決議案ではない。 町にとって大きな財源が必要だ。 く手を打たないと手遅れになる。 に財政が厳しい状況であり、 て住民のために活用してもらい 町長と執行部で粛しゅくと進め は確認している。上関町は非常 同行した反対派議員もそのこと 済燃料を安全に保管しており、 ようなことはない。施設は使用 りさせてもらい何も危険がある て交付金を活用し、 海村を見学して、 中間貯蔵施設について以前東 勉強もしっか 推反を超え 早

## 9月定例会

**案**1件、 案どおり可決・認定・同意され 教育委員会委員の任命1件、 の選任1件、 よび区域の変更1件、 よび特別会計11会計の補 令和5年度一般会計補正予算お ました。 算認定1件、 条例の制定2件、 14日までの9日間の会期で開催 9 月定例会は、 議員提出議案1件。 報告4件、追加議 教育長の任命1件 土地の確認お 9月6 監査委員 正予算、 H か 原

## 議案

◆一般会計補正予算(第2号) →一般会計補正予算(第2号)

## ・主な歳入

越金は前年度繰越金の増額。は公共施設建設基金の減額、繰付額、県支出金の増額、繰入金増額、県支出金の増額、繰入金

各費目での人事異動に伴う人●主な歳出

件費の増・減額、各特別会計への繰出金の増・減額を計上。総務費は、前年度繰越金の決定に伴う財政調整基金およびふるさと振興基金への積立金の増額、と振興基金への積立金の増額、民生費は、補助金清算に伴う返還金の増、商工費は、原子力関連施設への視察研修費などの増、

## ▶特別会計補正予算

助金等償還金の増額など。各特別会計11会計において人事異動による人件費の増・減額、事異動による人件費の増・減額、事との場である。

## ◆条例の制定

・上関町公営住宅管理条例の一部を改正する条・上関町定住促進住宅設置及一部を改正する条例の制定

町の区域の変更(編入) ◆新たに生じた土地の確認及び

◆上関町監査委員(識見を有す



松中 一夫 氏

認定第1号

純氏を任命する。 ◆上関町教育長の任命 上関町教育長である山方 純上関町教育長の任命



山方 純

◆上関町教育委員会委員の任命上関町教育委員会委員に任命す 2月30日で満了となるため、新 に立畠達夫氏を委員に任命す たに立畠達夫氏を委員の任命

## ◆報告

び特別会計歳入歳出決算の認定

令和4年度上関町一般会計及

- ・工事請負契約の変更
- 事業計画の報告 第6期上関航運有限会社の
- の経営状況の報告の経営状況の報告

氏

比率の報告全化判断比率及び資金不足令和4年度決算に基づく健

## ◆追加議案第1号

工事請負契約の締結

に伴う建物解体工事の契約

財源の確保は喫緊の課題。

厳しい財政状況の中で、

財源の確保に努めながら、

白井田地区道路新設事業

代表取締役 岩木 昇㈱イワキ

だくことを、

お願い

申し上げ監

査報告と致します。

した財政運営に取り組んでいた



立畠 達夫 氏

5 円。 源は、 円を翌年度に繰り越した。 繰り越すべき財源は0円、 007万4531円、 74円、歳出決算額は、 た。特別会計(12会計)の歳入 3002円を翌年度に繰り越し 差引実質収支額1億4113万 決算額は、 実質収支額5664万6843 決算額は、18億2672万13 億7357万6157円、 令和4年度歳入決算額は、 2846万7500円で 翌年度に繰り越すべき財 34億397万565 翌年度に 17 億 7 差引 歳出 35

## 監査報告

海下竜一郎

監査委員

## 質疑

## 応答

## 般会計補正予算

## 山戸孝議員

どが発生しているが対策は。源泉徴収漏れによる延滞税な

## 山内総務課長

## 山戸孝議員

目的外使用にならないか。

「大学学するのか。事業の財源のか。またその結果は町長の判のか。またその結果は町長の判のが。またその結果は町長の判めについて、視察と住民への説明を開いる。またその結果は町長の制めに、できれる。

### 四田長

住民の声を拾い上げてほしい。結果は判断材料になるが議会も情報公開条例に従って公開する。視察が先。アンケート結果は

## 橋本副町長

明し、対象になると聞いている。 交付金の使途として県にも説

## 清水康博議員

た場合、無駄な予算では。 1350万円は、不適地となっ 1350万円は、不適地となっ

### 西町長

一つの材料と考え計上した。としては町民の皆さんの判断の不適地であれば仕方ない。町

## 秋山鈴明議員

客観的な目線で見てはどうか。中間貯蔵施設を、一歩引いて

### 西町長

で判断していただきたい。もらうことが大事なこと。自分を進地へ行って、見て感じて

## 令和4年度決算

## 山谷良数議員

方法などに課題があるのでは。額が増えていると思える。徴収上されているが、近年、不納欠損税の滞納額や不納欠損額が計

## 上杉住民課長

い状況の時もあります。 で時効を向えるため徴収が難しついては、税が前年度収入に対であるための滞納額に

## 橋本副町長

ろ全て行っている認識です。
停止も掛けており、できるとこえや納付誓約書であるとか執行財産調査も行っており、差押さ

## 町長報告

# による業務横領に関する報告一般財団法人なごみの元職員

町民の皆様をはじめ関係する皆様には多大なるご迷惑とご心皆様には多大なるご迷惑とご心記だび申し上げます。当法人として不正行為を認識後、速やかに弁護士へ相談、委任し事実関係の調査を行ってきた。元職員

済。 強化に取り組む。 再発防止に向け、 を取り下げることはしません。 に応じなかったため刑事告訴と 790万6815円で示談交渉 実調査に応じ早期に示談が成 によるものが85万2千円で事 懲戒解雇とした。 の連携を緊密にし、 く損ねるものと考え、 ったが行政に対する信頼を著し 令和5年8月8日全額返済とな 令和5年7月31日示談が成立し、 いう厳正な対処を行った。後に 令和5年3月6日全額返 30代元職員によるものが 顧問弁護士と 50代元職員 管理体制 刑事告訴

### 賛成!反対!激論が交わされる!

#### 一般会計補正予算に対し賛成3名、反対3名が討論

使用済み核燃料の中間貯蔵施設に関連して町民50名、町職員30名が東海第二原子力発電所の乾式貯蔵施設を視察するための企業調査費924万3千円に焦点が当たり、賛成・反対各3名ずつの討論が行われました。

採決の結果、賛成6名、反対3名で可決されました。

#### 反対

人口 2300 人のうち、わずか 50 人が視察して意味があるのか。順番が違う。まずは全町民を対象とした情報提供を優先するべき。また視察という形では今後この町を背負っていく子育て世代、特に子育て中の女性は参加しづらい。

賛 成



山戸 孝 議員

議員研修でもこの交付金を使い東海第二発電所を視察している。町民が中間貯蔵施設の安全性などを判断するため 視察研修に行くことは必要なことだと思う。補正予算に賛 成する。



柏田 真一議員

#### 反対

まだ調査も始まっていない。調査結果次第では「不適地」となる可能性もある。町長は「その時は仕方ないこと」と言われているが、多額の予算を組んで結果が出る前に視察に行くことは無駄な予算計上になる可能性があるため、反対。

視察に係る補正予算に反対することは、町民が中間貯蔵施設の意義や安全について、正しい情報の元で判断する機会を奪うことになりかねない。まずは自分の目で見て、判





古泉 直紀 議員

清水 康博 議員

## 友対 施設が安全かどうかは国や事業者の説明を信じるか信じないかということであり、信じる人は信じるし信じない人は信じない。平行線にしかならず、町内での対立をあおるような視察をわざわざ町が用意するべきではない。

断することが必要であり、補正予算に賛成する。



秋山 鈴明 議員

中間貯蔵施設が、町の財源確保・地域振興策としてふさわしいかどうか、見極める必要がある。先進地視察をし、現実を認識して、現実に基づいて議論をし、判断していくことが重要。今回の視察研修費用の補正予算に賛成する。

賛 成



海下竜一郎 議員

## 

#### 厚生関係

- 間安心安全保育体制強化事業補助金の内容は。
- 图 保育園が運動会などの行事の時に保育士だけでは人手が足りないときの補助員への報償費。
- 問海のまち診療所の賃借料について具体的に。
- 質借料の消費税部分が計上漏れになっていたため、今回計上した。
- 問 新型コロナの罹患者があらためて増えている実態を把握しているか。年齢などは。
- 関在は定点観測になっており、週1回の報告。8月に入ってから増加しており、9月まで横ばい。県からも予断は許さないと言われている。年齢については把握していない。

#### 産業関係

- 間上関海峡温泉の給湯器修繕の内容は。
- 問 道路改良費の財源振替の理由について、事業の延期とのことだがどこの事業の延期か。
- 問農業集落排水事業の30万円の修繕料の内容は。

  - 問 風力発電事業の建物災害共済金について。
  - | 答 監視カメラの故障について補償されたもの。



上盛山の風力発電施設

- 問 風力発電事業の委託料の補正の内容は。
- 圏 遠隔監視サーバーの保守が5年契約で、今年 の12月で切れるために補正で上げた。
- 問 当初予算を組むときにわからなかったのか。
- 圏 メーカーから話があったのが6月過ぎていたため、今回の補正にあげた。保守を切ると遠隔監視ができなくなる。
- **問** 更新時期は全てメーカーが管理しているのか。
- 問 風力発電事業の報奨金について具体的に。
- 圏 前年稼働率に対し、次の年度に常時風車が動ける状態が95%以上の場合支払う契約になっている。ただ来年度以降はこの報奨金の支払いは無くなる。
- 問上関航運有限会社の第61期事業計画について、今、燃料が高騰しているのに燃料潤滑油が以前の期よりも下がっているが。
- 問 道の駅や温泉施設について、町長から改善を 要望したことなどあるか。道の駅に県外産の 魚が並ぶこともあり寂しく感じる。
- 图 支援事業を使い運営について指導をしてもらっているが、なかなかその通りにはならないところもある。経営的に厳しい面もあるので先進地への視察による勉強も提案している。魚については天候や温暖化によって今まで取れていた魚が取れないなどの話も地元漁業者から聞くのでそのためだと思うが、町内から新たに道の駅に出荷していただいているという話もある。町のみんなで盛り上げていただきたい。
- 問水軍まつりや桜まつりなどの町のイベント のボランティア募集を積極的にしていき町 民全員で盛り上げていけないか。
- 圏 水軍まつりは実行委員会があり各事業者、団体からスタッフを出していただいているが、マンパワー不足もあるので検討していきたい。桜まつりについては以前よりボランティア募集はしているのでご協力をお願いしたい。

## 総務文数常低委員会

#### 総務関係



視察予定地の東海第二発電所

- 問 職員手当等について特殊勤務手当とは。
- 管 特殊勤務手当とは、火葬業務を委託している 業者が都合がつかず職員で行う場合があり、 予算としてあげている。
- 問 研修旅費・食糧費・船舶車両等借上料の詳細 について。
- 圏 旅費は東海村の研修を約2日で予定している。需用費の食糧費は、視察先のお礼。船舶 車両借上料は、バス代、有料道路代を予定。
- 問報道では、住民と職員の両方を含むとあるが、具体的な人数と割合は。
- 答 人数は80名で、住民50名職員30名を予定している。
- 問 今回補正が924万3千円で当初の補正と合わせると1353万円が上限額であるのか。
- 图 とりあえず住民と職員で80名を組んでおり、 限度額が1350万円だが希望者数に合わせ対 応する。
- 問修繕料50万円の詳細は。
- 問 不納付加算税と延滞税について。
- 图 不納付加算税とは、源泉所得税の納付が行われてなかった場合にペナルティとして支払う税金です。延滞税は定められた期限までに納付されない場合に課せられるもの。

- 問 負担金補助及び交付金・起業支援事業交付金 を補正で計上しているが、当初も同じ額あげ ているが、実績があったのか。
- 圏 昨年時点で近ぢか起業予定という方がおり当初予算 100 万円組んでいたが、それとは別の方から申請があり、その方は現在開業しており、今後の申請もあると予測されるので補正で計上した。

#### 文教関係

- 問工事請負費で、上関小学校の男子更衣室の修 繕と聞いたが、男子更衣室と女子更衣室は繋 がっているが、女子更衣室は、心配ないのか。
- 圏 主に大きく壊れているのが男子更衣室で、女子更衣室も天井が一部落ちている。男子とあるが、女子の方も併せている。
- 問報償の中の入学祝金が当初より増えているが、人が増えたということでよいのか。
- 圏 この入学祝金に関しては当初予算作成時に予 定していた人数よりも多く申請が出たため。
- 問 修繕費で校舎修繕とあるが具体的な所は。
- 答 特別支援教室の床シートの張替とガラス取り 換え工事費。
- 間 城山歴史公園のイノシシ対策のネット設置について。
- 圏 城山歴史公園ののり面にロックをかける工事 を当初予算で組んでいたが、ネット設置の設 計も必要となり、その委託料。
- 問かみのせき學苑のキャラクター「しーたん・ ふーたん」あまり町民に浸透していないが。
- 問ネットワーク改修委託料だが、議案逐条説明の時は合同システムとの説明だった、6月議会で説明いただいた校務支援システムの事ではないのか。
- 图 こちらの名称は「山口県統合型校務支援システム」で、全県で導入される。今年度セッティング、来年度から運用計画。その設置にNTT側の工事費が必要なため計上した。

### TO TO のととが 置 きた W

## 







度ある冷静な対応をお願いする。

な行為は二度と起きないよう節 ても禁止行為となる。このよう 定めており、どちらの件につい

## の定例 議会では7名の議員が 10 一件の質問をしました。

9月



真 議員

の進め方 柏田

問 と抗議活動 中間貯蔵施設 への対応は

対応する 庁舎管理規則に則り

## 問

分以上車内に監禁され、 会は議会からの要請であったが、 議会に対する事業者からの説明 8月18日の臨時会では町長が20 し警察が出動する事態となっ 止 8月14日に予定をしていた、 行動により中止となった。 車は破

> 動に対してどのような対策を考 整えるために阻止行動・妨害行 に話し合い、 どが当たり前に開催でき、 るのか。 動についてどのように考えてい えているのか。 このような常軌を逸した行 今後、説明会や議会な 判断できる体制を 冷静

### **H**J 長 答斜

ない。 妨害、 響が出る事態となった。その際、 噪行為が行われ議会の開催に影 臨時会、 残念に思う。 できる貴重な機会が失われ大変 私の車が破損した。このような 員説明会の中止は、 8月14日の中国電力による議 町では、 喧噪行為は断じて許され 私の入庁を妨害する喧 また、 庁舎管理規則を 8月18日の 意見交換の

> 問 災害時に利用できる 港の建設を

## 今後の財源確保も含め、 検討する

思っている。災害に強い町を作 難しいと考えられる。 に大型の重機を運搬することも 関大橋は重量制限があり災害時 運び込み必要がある。また、 際には、 多くの町民が不便な思いをした。 るために、このような港を建設 側に建設しておく必要があると が着岸できる港を長島側と室津 が起きた時にも町民が日常に近 地震などで橋が大きく破損した してもらえないか。 い生活ができるよう、 令和2年に上関大橋が破損し<br /> 給水車や発電機などを 非常事態 フェリー

間は、

臨時船を運航し通勤、

通

の車両の通行ができなかった期

ったことは記憶に新しい。大橋

来を可能とした。

また、

仮設の

通院など町内・町外への往

フェリー係留施設を設け、

## 長答

今から3年前、令和2年11月

する。

確保も考慮し協議を重ね、

い町づくりのため、

今後の財源

の建設も視野に入れた災害に強

により、 14日に上関大橋が損傷した事故 大橋が通行できなくな





ェリ 大橋事故時のフ

た。

今すぐにとはいかないが港

原形復旧により施設は撤去し や車両運搬が可能となったが、

### 問 容問 0)

山戸 孝 議員

## 貯蔵施設調査 撤 回を

# 撤回は考えていない

か。 短さの理由になかったか。 ュールや関電からの要請がその 16 いったん撤回するべきではない いて冷静な議論をするためにも 町長は中間貯蔵施設の調査 日だが、 の判断をしたが、 ②判断までの期間がわずか 交付金交付のスケジ 町内外にお ③ 施 も踏まえて今後検討する。

### **e**j 長

否両論の専門家を、 知識を高めた後に、 の皆様が中間貯蔵施設について 対応されることと思う。 ことなどを求めている。 辺市町に適切に情報提供を行う ③調査容認に際し、 らの要請はいっさい関係ない。 とは考えていない。 ①調査容認の判断を撤回するこ べきと考える。 て十分な議論を皆様と共にする 査容認の判断に交付金や関電か 住民説明会に賛 という意見 時間をかけ 中電には周 ②今回の調 **4**住民 今後、

## 問

## 答 結論が出てから 適地であると

も含め、 ビジョンを改めて示す必要があ げる以上、 町とはどのような姿なの 誘致による交付金や税収の使途 るのではないか。 発は諦めない、 新たに中間貯蔵施設誘致を掲 町長の言う持続可能な 今後のまちづくり さらに中間貯蔵 中間貯蔵施設 原 0

を示すべき まちづくりのビ 問 ジ 日 シ



設誘致に不安や拒否感を持つ周

辺自治体や住民への今後の対応

に否定的な情報も含め、

④町が主体となり、

中間貯

考えていないのか。

する時間や場を提供することは に十分な情報や是非を考え議論

か う 描 < 町の将来像 を

り協議してほしい。 づくりをするとしてここまでき は41年前から発電所建設でまち とは現段階では難しい。上関町 ついても確定した数字を示すこ ビジョンについても話をしてい は、 するのか。 ている。町の存続は何をもって くことになる。 をかけ議論していくなかで町の された場合のビジョンについて 論が出てからの話。 しては町民の判断に従う。建設 中間貯蔵施設誘致の是非に関 調査結果が適地であると結 代案があればし 交付金や税収に 十分な時間

なる。 は「核の しているのか。 って中間貯蔵の話を進めようと てやっていく、 まちづくりの選択肢が無く となると町内外から上 上関町は 「町」という印象を持 という覚悟を持 「核の町」とし 関

### に対する町長 申 間貯蔵施設 の考え の安 全性

### に問題 この手で触れ はな 安全性

だきたい。

らは中 る。 てい に対 もの 討を了承し 踏まえた上でこの度の調査・検 意見を述べた。 視察に行き、 を確認し調査受け入れに賛成 を視察したときに、 「の認識をお聞かせ頂きたい。 0) 東海第二発電所中間貯蔵施設 る。 して疑問視する声が上がっ 取り上げ方などから安全性 かわからず、 - 間貯蔵施設がどの 度、 西町長も議員の時代に たものと推 その安全性を十分 安全性に対する町 しかし、 ニュースや新 その 察して 町民か 安全性 ような

②二次蓋

④中性子 遮へい材

⑤外筒

(使用済燃料の保管容器)

放射性物質を

閉じ込める

2

放射線を

さえぎる

(345)

金属キャスクの

4つの備え

⑥バスケット (仕切板)

3

臨界を防ぐ

(6)

4

熱を取り除く (7)

キャスク

## 問

古泉 直紀 議員

長

爵

の建物の中に保管される。実際 利用し冷却され、 呼ばれる金属製容器に収納され、 水を一切使用せず空気の循環を 済燃料は、円柱状のキャスクと ||貯蔵施設を見学した。 所の視察に参加し施設内の中 私も議員時代に、 コンクリート 東海第二発 使用

## 答

この手で触れ、

#### 圕 少数派を含めた 町 り添った町政 長 0) 公約 はは 住民 KE



秋山 鈴明 議員

## の皆様に視察研修へご参加いた 性を確認するために多くの町民 聞は一見に如かず」まずは安全 題がないと確認した。まさに「百 安全性に問 るならば、 ①住民に寄り添った町 住民全体に寄り添う

か。 識はあるか。 ということでいい うというときの住民とは、 町長の考えは。 うことを含めて説明ということ 説明すべきことがあるという認 者や国だけでなく、 言うのを諦めないとい が聞き手が理解し納得するとい の状態をどう評価するか④事業 いう住民に寄り添うべきだが、 少数派に関係なく住民全体 意見を言いにくいと ⑤説明するという ②住民に寄り添 か。 町長自身が けない町 ③意見を 政を揚げ 多数

## **H**J 長

れば、 げた住民に寄り添った町政の住 ③議員に声が届いているのであ ことは必要と思う。②公約に ①そうした声に耳を傾けてい が立場を尊重しながら意交換す いただけたら対応できると考え 民とは、 ④ルールを守って、 議員を通じて私に伝えて 少数派を含む住民全体。 お互い 掲



寄

我が町の眺望

する。 ない。

中間貯蔵についての専門

的な知識が必要なものについ

国にお願いする。

ることは、

決して拒むものでは

⑤行政のことは、

#### 問 協議 中 間貯蔵施設

右田千賀子 議員

#### 進めたい を受け入れた町長の し理解を深め 0 調査 思い • 検討

検討 をなぜ受け入れたのか理由 共に活気が生まれる。 設で働く人が町に入ってくると 気もなくなっている様に感じる。 子高齢化で人口減少が、 ることとなった。上関町では少 に議員の意見を聞いて受け入れ から中間貯蔵施設建設の 交付金を活用し町民に手厚い行 もし中間貯蔵施設ができれば施 令和5年8月2日に中 改めて町長から今回 0) ビスができると期 申 し入れがあり、 国からの 町の活 玉 調 18 日 を確 査

### 長

る。 していく町を黙って見ている訳 活し、住民が安心して暮らせる の交付金や固定資産税収入など て協議し理解を深め進めたい。 にはいかない。 使命であると感じている。 と上関町を次世代へ繋ぐことが 環境を作り、 来を思うとき、若い人が町で生 たいへん有効的と思う。 安全性は問題ないと確認してい 員研修の中で視察に行って来た。 中間貯蔵施設については、 財源確保の面でも、 持続可能なふるさ 町の将来につい 町の将 国から 衰退



康博 議員 清水

## 答

問

受け入れが与える影響につい 中間貯蔵施設建設にかかる調査

7

### 原子力関係以外 抜本策はな じ

問

の提案があり18日、 振興策として中間貯蔵施設設置 人れを表明。 8月2日、 中国 あまりの 電 町長は受け 力から地 スピード 域

中間貯蔵施設調査地

中心となっていただけると思う。 寧に説明する。 議員の皆様に全員協議会におい ている。 に情報提供を行うことを要請 対して周辺市町には、 査受け入れの時に中国電力に 市町の理解活動は事業者・ コミの報道で承知している。 周辺市町の首長の声は、 周辺市町の首長には丁 基本的には周辺 適時適切 マス 国 調

上がっている。 施設に対する不安の声 の進め方に対する不満の声 町内外 の住民から ・中間貯 今回

②地域振興策として新たな原子け止めているか。今後の対応は。 が他の振興策を十分に検討して 調査受け入れを決断されたのか。 力施設の誘致を検討されている 治体の首長・住民の声をどう受 ①調査受け入れに対する周 辺 自

## 町長答弁

て振興策や財政状況について5

以外抜本策はない。

議を重ねてきたが、

原子力関係

以前地域ビジョン検討会でも協 回協議したが抜本的な策はない。

#### 問 早期に 中 住 良へ 0)

海下竜一郎 議員

二発電所を視察研修した。

私自身も議員時代に、

東海第 事前

長

答斜

にどの様なものか調べ視察した

## 間貯蔵施設 理解活動 に対する は

今後、

町民の皆様にも安全性を

しやすさと安全性は想像以上だ。

実際に見学すると、管理の

# 開催するよう

広報やホームページなどを通じ

い。また国や事業者とも連携し

施設を見学し触れていただきた

確認していただくために実際に

聞くと中国電力さんから聞いた といった疑問の声が多く聞こえ っかりと住民への理解活動を准 をかけた大きな課題。 からは、 よと言われる方がほとんど。 送され、 初新聞に記載され、テレビで放 海第2発電所で体感した話をし 最近では、 調査段階の時間を使ってし - 間貯蔵施設については、 中間貯蔵施設は、 視察研修で茨城県の東 町民から何をどうして 町民の方がたに 町の将来 まずは、 私 当 問

興策 中 間 貯蔵施設が地域 に繋がる考えは 振

開催するよう検討したい。

状況を見ながらなるべく早期に

には地元説明会も開催する予定。 て情報提供も検討している。更

## 問

よう協議を進め

る

住民全体の計

画となる

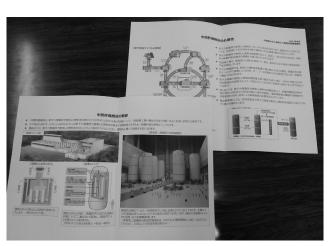
主財源と76・6%の依存財源 5年度でいうと、 現在の 町の財政状況は、 23 ・ 4 % の 自 令和

める必要があると考えるが。

きない部分も多いが、現時点で に関わる調査・検討だ。 体的なメリットなどは、 調査の段階で町に見込まれる具 使用済燃料中間貯蔵施設の設置 町長は今年2月に中国電力 頼 0 の振興策を要請し、 で成り立って 町の振興策としての考えは。 の厳し ŋ 自主財源の い財 いる。 政状況を踏まえて 依存財 その回答が 算出で へ町 源

## 長答弟

浕。 後、 う協議を進める。 けて、住民主体の計画となるよ がる地域支援策への一つとして 政状況を鑑みて、 な交付金の活用および実施に向 象となる交付金制度の活用につ 検討の受け入れを判断した。 中間貯蔵施設設置に係る調査 念される。このような厳しい財 無くなり、住民への負担増が懸 いて現在検討している。 人口減少、高齢化は深刻な状 このままでは住民支援策も 立地可能性調査を実施し対 財源確保に繋 今



業者の中間貯蔵施設の説明資料

#### 議会活動報告(令和5年6月14日~令和5年9月13日)

Ī	视	片	竹	剉	判	E		ग	和	<b>5</b> 2	Ŧ.	O J	1 1	4		T	计机	1 5	平	9	月	13	Н	
8月1日	7 月 31 日	//	7 月 26 日	7 月 25 日	7 月 21 日	7 月 19 日	7 月 18 日	7 月 14 日	7 月 13 日	7 月 12 日	7 月 11 日	7 月 10 日	7 月 1 日	7 月 6 日	7 月 5 日	//	7 月 4 日	7 月 3 日	6 月 28 日	6 月 27 日	6 月 26 日	6 月 21 日	6月14日	月日
熊毛郡議会議長会定例会(平生町:岩木)	熊毛郡議会広報連絡協議会 (平生町:山谷)	定期監査(海下)	月例出納検査 (海下)	一期議員研修会(清水・秋山・柏田・古泉)	決算監査 (海下)	柳井地区広域市町議会議員研修(全議員)	議会広報委員会(山谷・海下)	定期監査(海下)	定期監査(海下)	東部高速交通整備協議会(広島市:岩木)	定期監査(海下)	議会広報委員会(山谷・海下)	定期監査(海下)	山口県東部高速交通体系整備促進協議会(山口市:岩木)	議会広報委員会(山谷・古泉・右田・山戸)	熊毛郡議長会臨時会(山口市:岩木)	県町議会議長会定例会(山口市:岩木)	定期監査(海下)	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)	柳井広域消防組合臨時会(柳井市:海下)	月例出納検査 (海下)	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸・岩木)	内容(場所・出席者・参加者)
		9	9		9	9	9	9	8	8	8		8	8	8		8	8	8	8	8	8	8	月

														岩木)									^	
//	//	9 月 14 日	9 月 13 日	//	9 月 11 日	9 月 7 日	9月6日	9月9日	8 月 30 日	8 月 29 日	8 月 28 日	//	8 月 24 日	8 月 23 日	8 月 22 日	//	8 月 21 日	8 月 18 日	8 月 15 日	8 月 14 日	8月8日	8月3日	8月2日	月日
全員協議会 (全議員)	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸・岩木)	第3回定例会本会議(全議員)	第3回定例会本会議(全議員)	総務文教常任委員会(右田・古泉・秋山・柏田・岩木)	産業厚生常任委員会(山戸・山村・海下・清水・山谷・岩木)	全員協議会(岩木・秋山・海下・柏田・古泉・清水・右田・山戸・山村)	第3回定例会本会議(岩木・秋山・海下・柏田・古泉・清水・右田・山戸・山村)	高校存続協議会要望書提出(山口市::岩木)	住宅入居者審查委員会(山谷・山戸)	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸・岩木)	月例出納検査(海下)	人権学習講座(岩木・海下・柏田・古泉・右田・山戸)	高校存続協議会(岩木・山谷)	決算監査審査意見報告(海下)	山口県町議会議員広報研修会(山口市:山谷・海下・古泉・右田・山戸)	財政健全化審査 (海下)	決算審査事務打合せ(海下)	第1回臨時会(全議員)	二十歳のつどい(岩木)	議会運営委員会(山村・右田・海下・古泉・山戸・岩木)	全員協議会(全議員)	千葉県市川市議会議員視察来庁(岩木・山谷)	議会広報委員会(山谷・海下・古泉・右田・山戸)	内容(場所・出席者・参加者)

## 議員提出議 号

提案理

由

### 一関町議会議員の請負の状況 全会 致 可 決

の公表に関する条例の制定

提出者 山 村 泰志

賛成者 賛成者 賛成者 山戸 右田 千賀子

> を制定する必要があるため。 緩和がなされることになり条例 請負に関する規制の明確化及び 法律により、 上関議会議員の請負の 議会の議員に係る

公表に関する条例

第1条 この条例は上関町議

地方自治法の一部を改正する 状況の り、 う。以下同じ)をする者又はそ 図ることを目的とする。 負の状況を公表すること等によ 92条の2に規定する請負をい の公正及び事務の執行の適正を を確保し、もって、議会の運営 の支配人である場合における請 治法(昭和22年法律労67号)第 ) が上関町に対し請負 会議員(以下「議員」という。 請負の状況の公表の透明性 (地方自

散による任期終了により議員 期間内に任期満了又は議会の解 期満了又は議員となった日から でない期間がある者で当該任 日から同月30日までの間 起算して30日を経過する日まで 第2条 議員は、毎年6月1 (当該

た

について、 ある期間に限る。 げる事項を報告しなけれならな する請負 る会計年度の前会計年度議員で の間)に、 いて支払を受けたものに限る。 いて同じ)における上関町に対 (当該前会計年度にお 議長に対し、次に掲 当該6月30日の属 第1号エにお

掲げる事項 (1)請負ごとに、 それぞれ次に

6月30日の属する会計年度の前 ている請負に限る) 契約金額 物件等 会計年度において支払を受けた ア 請負の対象とする役務や 1 (契約金額が定められ 契約締切日 エ 当該 ゥ

## 町民の声を聞いてみまし S さん

町の方々に支えられて親子での さん声を掛けていただき、上関 も大変有難いです。さて、子育 成長があると感じています。子 ながら見守れたり親同士お話し ある公園が欲しいと強く感じま てする中で、たくさんの遊具の 育て世代には町の子ども政策 日頃より子ども達の事でたく 幼い子連れでも一緒に遊び

たり、 ルにもなり得ると思います。 過ごしたいと思える町のシンボ す。その子ども達が元気いっぱ くて素敵な町だと分かっていま が自然いっぱいで優しい人が多 と思います。子ども達は上関町 を動かして外遊びが楽しめる事 い友達と『上関町で』遊びたい、 子ども達もしっかり身体



# 町に聞いてみました

ため、 湾周辺を会場とするイベント つりや愛・ランドフェアなど港 もできるが、現時点では見送り 予算要求が挙がっている。 り遊具設置について皆さんか の際に駐車場として活用する が続いている状況。更に水軍ま になるうえ、管理や専門業者に ら要望があり、担当課から毎年 よる定期点検等も必要となる。 財源的に可能であれば設置 海峡広場については、 耐塩性の素材となると高額 「たくさんの遊具のある 以前よ しか

ただけたらと思う。ったりスポーツを楽しんでいい芝生の上で思い切り走り回海峡広場に遊具はないが、広

### K さん

令和5年度新1年生5名は全令和5年度新1年生5名は全時間に保育園を卒園していまたりして新鮮味がありますが、たりして新鮮味がありますが、たりして新鮮味がありますが、ないうのは少し寂しい気持ちもというのは少し寂しい気持ちもというのは少し寂しい気持ちもというのは少し寂しい気持ちもというのは少し寂しい気があります。男女比についても、女子が1名なので、今後成長していくに連れ、同性の同級生がいないとなると、不安がる可能性もあるかと思います。



そろって通学

願っております。 とは難しい問題ですが、健やか にたくましく育ってくれる事を にたくましく育ってくれる事を

### H さん

にとっては不安な事なのではな とになるのですから、不安も多 息子も私もよく知った人達の中 の子が1名という事も、 で、小・中学校生活を過ごすこ ました。こんな自然豊かできれ で安心した気持ちもありました 0) いかと思います。 いです。また、昨年に続き、女 います。限られた人間関係の中 いな学校なのになぜだろうと思 メンバーの5名のみでした。 今年の新入生は、 少し寂しい気持ちにもなり 同じ保育園 保護者

公園

とすることは困難と思わ

れる。

# 町に聞いてみました。

(小学校新入学入学児童の減少)(小学校新入学入学児童の減少) 5年度上関小学校入学児童がおまでにも子育て世代への支援れまでにも子育て世代への支援として、保育料や副食費、学校として、保育料や副食費、学校をして、保育料や副食費、学校をして、保育料や副食費、学校をして、保育料や副食費、学校をして、保育料や副食費、学校をで、経済的支援を中心としたなど、経済的支援を中心とした。

### 柳 井広域 議員研 修会

が参加しました。当町も離島を 2名の講師により講演が行なわ と題し、 サリーステージ・ベルゼで「離 参考に離島振興に活かします。 かかえているので今回の研修を れました。上関町から議員全員 島の状況等と改正離島振興法 7 月 19 Ħ 相根渉氏と大友翔太氏 柳井市のアニ 1



### 期 議 員研修会

す。 動に活かしていきたいと思いま で学んだことを、 当町から、 と題し、 る「議会の権限と議員の役割 員が参加しました。この研修会 古泉直紀・ ア山口で、 7月25日、 講演が開催されました。 講 清水康博の4人の議 秋山鈴明・柏田真一・ 師、 Щ  $\square$ 今後の議員活 飯田厚氏によ 市のセントコ

## 熊毛郡議会広報連絡 協議会定期総会

議した。 局長が 郡3町の広報正副委員長・事務 算」、また視察研修地について協 決算」「令和5年度事業計画・予 7 月 31 日、 「令和4年度事業報告・ 平生町役場で熊毛



### 令和5年山口県町議会 報 研 修会

創意、 らアドバイスを受けました。 内から6町の広報委員が参加 題し、講演が開催されました。 民に親しまれわかりやすく読 ました。この研修を活かし、 町からも広報委員全員が参加 各町の課題などについて講師 による「読む!質す!生かす! やすい議会だよりを作成します。 ア山口で、講師、 8月22日、 熱意の取り組みに学ぶと 山口市のセント 越地真一郎氏 町 み か コ

### 編 後 記

す。 状を踏まえ、 るのが議会の責務です。 皆様はもちろん議会の中でも賛 間貯蔵施設の問題です。 のが、 夏もようやく終わりを迎えま 様とともに考えていきたいと思 対立することを恐れず議論をす を生まないよう、 否の分かれる問題ですが、 時期になりました。長く続いた います。 涼しさが心地よく過ごしやす 暑さも盛りを過ぎて、 一方でまだまだ続きそうな 今年の夏に急浮上した中 未来を見据え、 しかしながら 町民の 町の現 分断

議会広報広聴

調査特別委員会 副委員長 委員長

古泉 直紀

山谷

良数

" 員

山戸 右田千賀子

皆様方のご意見・想い お待ちしております。 投稿など

12月6日(水)の予定です。次回定例会の初日は

■発行責任者/議会議長 |〒 742-1402 | 山口県熊毛郡上関町大字長島 448 TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-1600 岩木和美

艦

崃

議会広報広聴調査特別

中村印刷株式会社